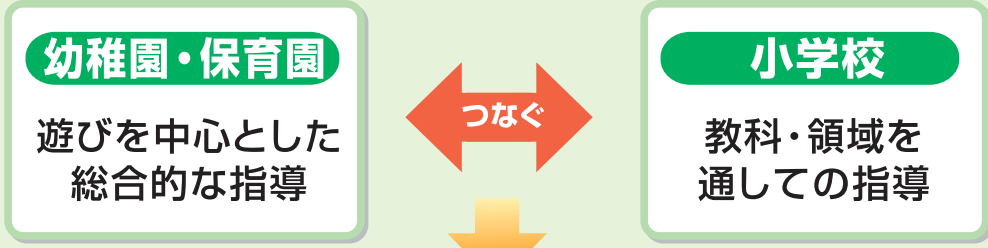


# 幼稚園・保育園での発達や学びを 小学校の教育へ「つなぐ」幼保小の連携教育

## 連携モデルプラン



### 保育者・教師間の相互理解

**ステージ 1 見合う** 互いの保育・授業を参観します。

**ステージ 2 語り合う** 保育・授業を見て感じたこと・疑問に思ったことを自由に語り合います。

**ステージ 3 理解し合う** 「語り合う」関係づくりが互いの指導法や教育内容についての相互理解につながります。

**それぞれの今の教育活動を充実させる**



広報紙



教師間の話し合い



交流活動



小学校授業参観



幼稚園保育参観

平成20年度から22年度の3年間を研究期間として、入船南幼稚園・入船保育園・入船南小学校ならびに舞浜幼稚園・舞浜小学校を「幼保小連携教育推進校」に指定しました。幼児教育と小学校教育の接続に関して、カリキュラムの作成や交流活動の年間計画への位置付けなど、実践・検討を重ね、連携モデルプランを作成しました。

11月18日に、舞浜幼稚園・舞浜小学校を会場に、3年間の取り組みについて実践報告会を開催し、市内全域での活用拡大を図りました。

### 連携モデルプラン 作成までの経過

浦安市では、幼稚園・保育園と小学校の教師間の相互理解を図ることで、互いの教育の質の向上を図り、幼児教育と小学校教育をしっかりとつなぐことを目的に、「幼保小連携教育推進の「連携モデルプラン」を作成しました。

### どんな内容？

- 1 保育者・教師間の相互理解 見合う・語り合う・理解し合う**  
幼稚園・保育園と小学校の連携教育は、子どもの「これまで（幼児教育）」と「これから（小学校教育）」を相互に理解し、「今」の教育を充実させることが始まりです。計画的・継続的に、互いの保育・授業を参観し、協議することが相互理解につながります。
- 2 子どもの発達と学びを「つなぐ」ための5つのポイント**  
幼稚園・保育園での発達と学びを小学校へどのようにして「つなぐ」かを考えて、教育活動を充実させることが大切です。

### 発達や学びを「つなぐ」ための5つのポイント

<p><b>子どもでつなぐ</b></p> <p>幼児は小学校生活に親しみ期待を寄せ、児童は思いやりの心を育み、自分の成長に気付くことができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>双方にとって意義のある交流活動</li> <li>事前、事後の打ち合わせ</li> <li>長期的な発達の見通しや指導</li> <li>年間計画への位置付け</li> </ul>	<p><b>カリキュラムでつなぐ</b></p> <p>幼児期の教育と小学校の教育との段差を小さくすることで、子どもの生活の変化への戸惑いが減る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>幼稚園、保育園5歳児の「アプローチカリキュラム」と小学校1年生の「スタートカリキュラム」を編成</li> <li>実践と振り返り</li> </ul>	<p><b>保育者・教師でつなぐ</b></p> <p>相互理解を深めることで、滑らかな接続と必要な段差に向けた指導方法等の改善ができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>相互の教育の違いと共通点の理解</li> <li>保育や授業の参観と参観後の協議</li> <li>合同研修会</li> </ul>	<p><b>情報交換でつなぐ</b></p> <p>幼稚園、保育園での幼児の様子や必要な情報を伝達することで、個に応じたきめ細かな指導の連続性が図れる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>担当者同士が顔を合わせての話し合い、引き継ぎ(3月と4月・その都度)</li> <li>幼稚園幼児指導要録や保育所児童保育要録の活用</li> </ul>	<p><b>保護者でつなぐ</b></p> <p>新しい生活への適応など、滑らかな接続のために保護者と連携する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>就学に向けて、保護者の不安や期待の実態調査の実施や学校説明会・懇談会の開催</li> <li>連携教育についての理解を促すための情報の発信(広報紙発行等)</li> </ul>
--	--	---	---	--